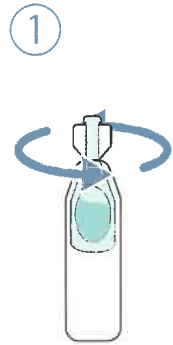
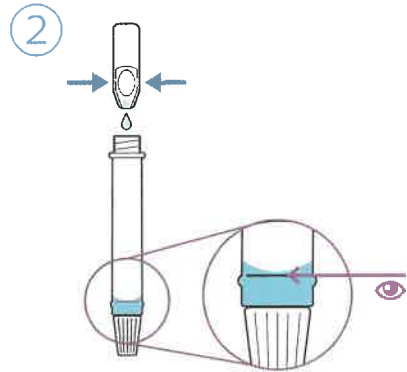


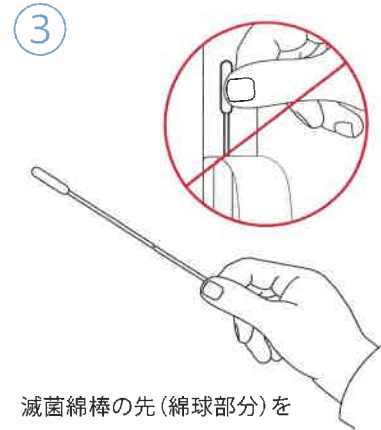
操作方法



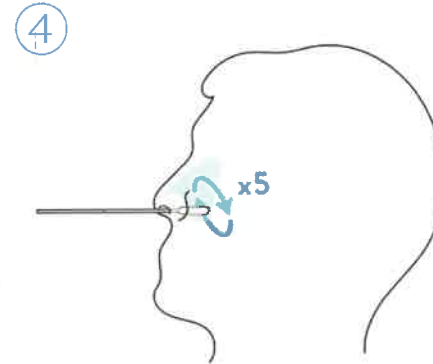
① 抽出液アンプルのタブをねじ切ってください。



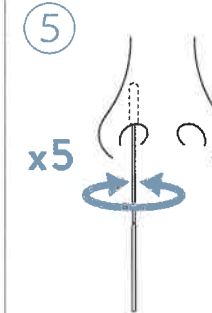
② 抽出液アンプルを垂直に保持し、検体抽出容器の上限ライン (300μl) まで加えてください。



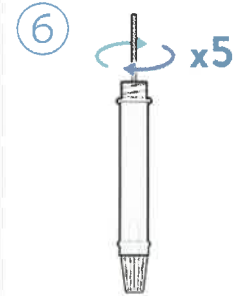
③ 滅菌綿棒の先 (綿球部分) を触らずに袋から取り出してください。



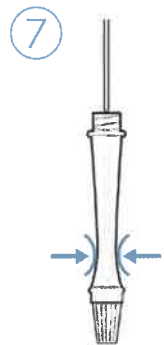
④ 滅菌綿棒を最初に抵抗を感じる部分 (約2cm) までゆっくり鼻孔に挿入してください。その後、鼻孔壁を擦る様に5回転させてください。



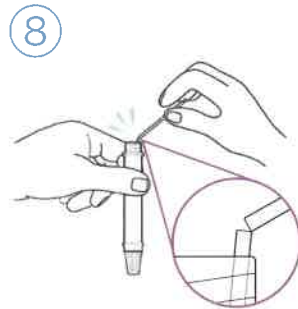
⑤ 滅菌綿棒をゆっくりと取り出し、同じ綿棒でもう一方の鼻孔で検体採取を繰り返してください。



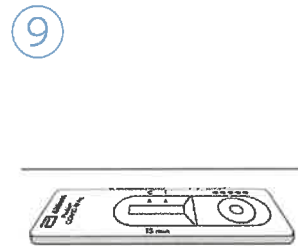
⑥ 抽出液に検体採取後の綿棒の綿球部分を浸し、管壁に押し付けながら少なくとも5回転は回転させてください。



⑦ 検体抽出容器の外側から綿球を指で押さえながら、検体を押し出してください。



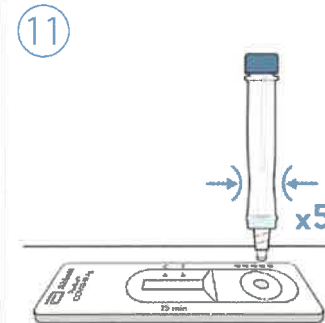
⑧ 綿棒の軸のブレイクポイントで軸を折ってください。



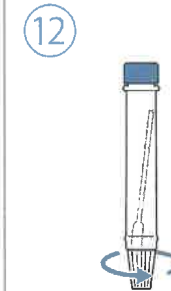
⑨ アルミ袋からテストデバイスを取り出し、平らな面に置いてください。



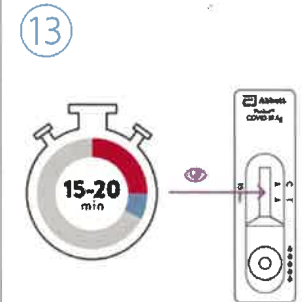
⑩ 検体抽出容器下部の滴下ノズルのキャップを開けてください。



⑪ 試料液5滴をテストデバイスの検体添加部に垂直に滴下してください。反応が終了するまでテストデバイスを動かさないでください。



⑫ 滴下が終了したら、検体抽出容器下部の滴下ノズルのキャップをしっかり閉めてください。

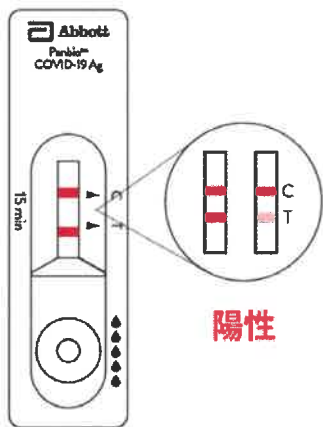


⑬ 15分後 (20分まで) にテストデバイスの判定領域を観察し、ラインの有無により判定してください。

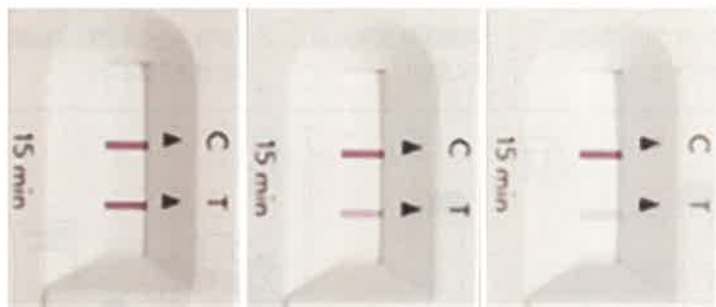
判定方法は裏面をご覧ください

判定方法

陽性

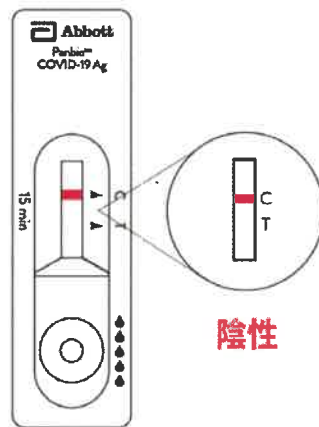


陽性



テストライン (T) およびコントロールライン (C) にラインが認められた場合、陽性となります。

陰性

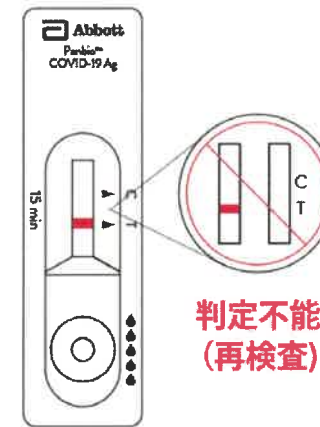


陰性

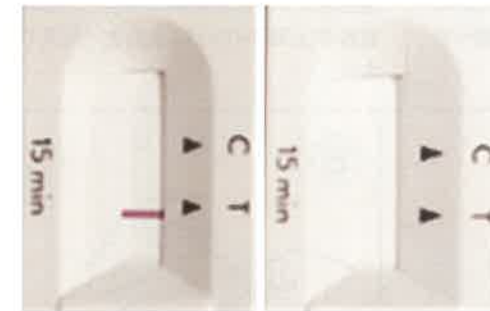


コントロールライン (C) にのみラインが認められて、テストライン (T) にラインが認められなかった場合、陰性となります。

判定不能 (再検査)



判定不能
(再検査)



コントロールライン (C) にラインが認められなかった場合は、たとえテストライン (T) にラインが認められたとしても検査は無効です。未使用の製品を用いて再検査してください。

※ラインが認められればその濃淡に関わらずライン有と判定してください。

製造販売元

アボット ダイアグノスティクス メディカル株式会社

〒270-2214 千葉県松戸市松飛台357

問い合わせ先

電話番号 0120-1874-86 (受付時間 9:00~17:00 / 土・日・祝日を除く)

アボット ダイアグノスティクス メディカル株式会社 お客様相談室

〒163-0807 東京都新宿区西新宿2-4-1